

6) 池中亭

梅宮大社には境内をぐるりと囲むように立派な神苑があります。花々が咲き誇る美しい神苑の池“咲耶池”に浮かぶ島にあるのが、「芦のまろ屋」とも呼ばれた茶席の「池中亭」です。

百人一首の71番では、大納言の源経信(みなもとつねのぶ)によって神社周



辺の風景を「夕されば 門田の稲葉おとづれて 芦のまろやに 秋風ぞ吹く」と詠まれています。池中亭は、古き良き歌の古里としての雰囲気、今に伝える唯一のかや葺きの建物となっています。

茶席「池中亭」は嘉永4年(1851年)建築。侘びた風情に心癒されます。

「池中亭」の内部は、通常非公開です。内部の様子は、床の間のある四畳半のお茶室です。

7) 勾玉の池

あやめ科の草花の王者で、東神苑咲耶池、北神苑勾玉池に伊勢系、江戸系、肥後系各種が5月下旬から6月中旬にかけて咲く。見頃は6月上旬となる。

同時にあじさい、水蓮、さつきつつじと共に楽しめる。

勾玉型の池の周りは花菖蒲で埋めつくされます。

